

シリーズ この人にきく

現代世界の対立構図

講師＝**鎌倉孝夫**（埼玉大学名誉教授）

日 時

7月20日(土)

開始 **13:00**

終了 **16:30**

受講料

1回1500円
(学生1000円)

★1回あたりの受講料が割安になる8枚綴りの回数券もあります。お気軽にお問い合わせください！

トランプ米政権の利己主義徹底の中で、現代世界は国際協調関係から、各国間の利害対立が、複雑にからみ合いながら深刻化しつつある。米中経済戦争、米＝キューバ・ベネズエラ、朝鮮・イランの対立、EU内利害対立等々。これらの対立関係は何に基づくものなのか、その対立はいかに解消・解決しうるのか。

背景として、ソビエト・東欧「社会主義」崩壊によって冷戦・体制間対立は消滅したという認識は誤りであることをふまえ、資本主義各国、さらに中国・ベトナム・ロシアにおける新自由主義の推進自体が、矛盾を噴出させ、対立を引き起こしていることを、とらえなければならない。

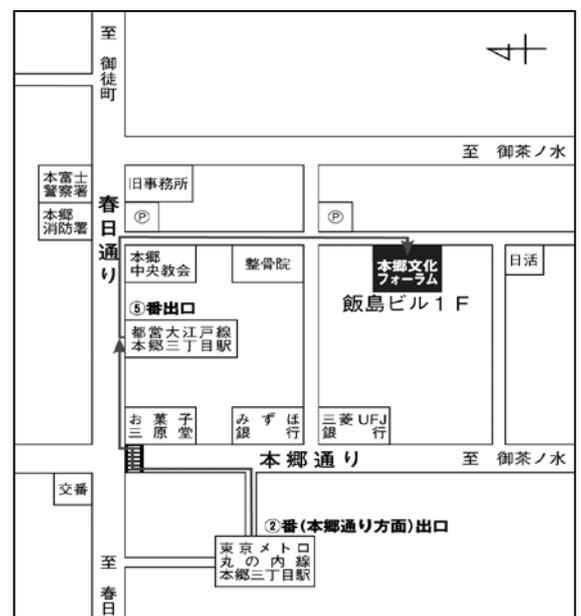
新自由主義の展開が噴出させる矛盾——それは本質的に言えば、現代世界を動かしている多国籍金融資本の金儲けの追求・実現が、世界的に労働者・人民の生きて働く権利＝人権を奪っていることにある。

しかしこの多国籍金融資本の支配を変革する労働者・人民の意識、主体的組織的変革実践はなお未確立であり、国家主義・民族主義にとらわれている。世界的規模の“さしせまる破局”に対し、これを克服する道は社会の存立根拠を担う労働者・人民の連帯した力による闘い、各国国家権力獲得以外にない。

講師プロフィール

1934年生まれ。埼玉大学名誉教授。主な著書として『経済危機・その根源——現代金融帝国主義』（新読書社、2001年）、『“擬制”経済下の人間・人間関係破壊』（長周新聞社、2008年）。『『資本論』で読む金融・経済危機——オバマ版ニューディールのゆくえ』（時潮社、2009年）、『新自由主義の展開と破綻——『資本論』による分析と実践課題』（社会評論社、2018年）など多数。

- ・都営大江戸線「本郷三丁目」駅⑤番出口 徒歩4分
⑤番出口を出て右折、まっすぐ進んで本郷中央教会の角を右折。まっすぐ進んで右手に見える「HOWs」の看板が目印です。
- ・東京メトロ丸の内線「本郷三丁目」駅②番出口 徒歩5分
②番（本郷通り方面）出口を出て左折。三原堂前の横断歩道を渡り、まっすぐ進んで本郷中央教会の角を右折。まっすぐ進んで右手に見える「HOWs」の看板が目印です。



会場 **本郷文化フォーラムホール** 〒113-0033東京都文京区本郷3の29の10飯島ビル1F（最寄駅＝地下鉄本郷三丁目）

■ 問い合わせ TEL = 03 (5804) 1656 FAX = 03 (5804) 1609 メールアドレス = hows@dream.ocn.ne.jp